

令和4年度 第4回 会津若松市中小企業・小規模企業 未来会議 要旨

日時：令和5年2月15日（水）10：00～12：00

場所：生涯学習総合センター（會津稽古堂）研修室4

1 開会

2 協議

会津大学短期大学部 木谷准教授を座長として進行する。

①情報共有（最近の状況や課題、各団体の取り組みについて）

・短大の11月末の就職内定状況（約9割）は、前年同期と比べやや高くなっている。県内の就職率は5割強。

・前任地に比べると就職活動のペースがゆっくり。2～3社面接を受けて就職先を決定しているのに、人手不足な印象。逆に就労後のミスマッチが心配。

・就職において何を重視するかは、個人によって大きく異なる。やりたい仕事で選ぶ場合、大都市圏で職探しをする傾向がある。地元志向の場合、公務員や金融機関が多い。

・若者を街に増やすためには、地元での就職に加え、一度外へ出た人をいかに街へ呼びこむかが重要と思われる。

・産業情報学科では、例年1月から2月にかけて卒業研究の発表会を実施している。

・デザインコース（県外就職3割程度）は1月最後の週末に実施。空き家のリノベーションや商品のパッケージデザインなど、デザインを活かした地域活性化のアイデアが多く見られた。

・経営情報コースは2月中旬の週末に実施。テーマは多岐にわたる。「研究」としてどこまで行うかは、短大であるが故、時間の制約があり苦慮しているところ。レポート作成において、「考える」＝「ネットで調べる」と同義になってしまっているところがある。

・昨年12月15日（木）に事業再構築補助金第7回公募の採択結果が公表された。当機関が認定支援機関として確認書を発行した5先の内、2先が採択となった（採択率40%）。

全国での通常枠の応募総数15,132件、採択件数7,745件、採択率は過去最高の51.2%となった。第8回公募が1月13日（金）で受付終了、1月16日（月）より第9回公募が開始となり3月24日（金）までの受付となる。

今後の実施スケジュールは、昨年12月2日（金）に令和4年度第2次補正予算が成立し、令和5年度も引き続き継続することが予定されており、第10回を含め令和5年度末までに3回程度実施予定とのこと。

現行の「通常枠」については、成長分野に向けた大胆な事業再構築を支援する為第10回以降は、新たな枠組みに移行することとなり、売上高減少要件を撤廃する一方、対象業種・

業態を限定するなど要件が見直され、「成長枠」として新設されるとのこと。

・コロナ禍で経営環境が依然として厳しい状況においても、新規顧客の開拓や新分野へのチャレンジ等の取組みにより、業況が改善に向かう取引先がある一方で、新型コロナ対策融資の利子補給終了や約定弁済開始を控え、今後の資金繰りに支障を来すことも想定されることから、借換保証制度の活用等、取引先の資金繰り支援と併せて、取引先の事業継続に向けた支援強化の取組みを行っていく。

・組合設立については年明けより3つほど動きがある。2つ（西会津町・会津美里町）は特定地域づくり事業協同組合制度を活用した組合。1つ（会津若松市）はインボイス制度に関して農協特例を活用するための組合。官公需適格組合の証明取（体制が整っていることの証明）得を目指す組合の支援を実施。原油物価高に対応する支援制度の紹介などを実施した。

・既存の組合の雇用状況については、金山町のみ好調で、ほかは難航している。

・組合の求人活動においては、インターネットサイトの「SMOUT（スマウト）」を利用しているケースが多い。

管内景況については、

・運送業……燃料費、車両整備費すべて高騰、ドライバー不足が深刻。

・建設業……寒波により空調設備や管工事の依頼が多い。除雪作業は思ったより少ない。

・製造業……半導体不足により部品調達が長期化している。印刷物の受注が少ない。

・旅館、ホテル業……閑散期中、全国旅行支援の割引額が縮小し自粛意識もあり、観光客は増えていない。10～11月は人手不足。部屋は空いているが人員が足りない。大川荘では依然「鬼滅の刃」ブームの影響がある。中国からの入国規制の影響もあり。

・飲食業……原材料の高騰、電気代の高騰、自粛意識の高まりなどで厳しい。

・情報サービス業……国のDX推進や企業のIT化導入により受注が多い。

・団体の取り組みとしては、静岡商工会議所との交流事業として、2/4～5に「静岡満喫ツアー」を実施、20名が参加。2/16には両市の小学6年生の社会科授業オンライン交流を実施予定。

・プレミアム商品券は2/15までの利用。

Q 今年度は利用店舗の傾向が変わった？

→ ・巣ごもり需要でスーパーにおける利用が依然堅調。

・飲食店での商品券利用割合については、飲食店自体の売上と比例している。

・ドラッグストア及びコンビニについては、全国旅行支援の地域クーポンと併用できる店舗が多い。

・全国の消費税インボイス制度登録率は、法人 80.8%個人 23.7%全体で 51.5%、特に個人の低調が続く。3月末の登録期限が9月末まで延長。

・インボイスセミナーは人気で、12月が30名、1月が40名の参加。2月は建設業（個人事

業主が多く、取引先の大手企業から必ず対応を求められることになる) 対象のセミナーを予定。

・2/16~3/15 所得税確定申告、2/16~3/31 消費税確定申告、今のところ申請延長はなし。

・団体において、県の政策委員会で2月10日に県知事を囲む懇談会があり、会員からアンケートを取り、各社の経営実態・要望・提言などリアルな声を集めた。提言書の目的としては、「共に持続可能な地域を創造していくために」

①学校教育で行われる「勤労観・職業観教育」に地域中小企業の力を活用し、福島県が「人材の宝庫」となること

②地域内経済循環をめざし、協奏で中小企業に育成を図る仕組みの創設

③「福島県（ものづくり）企業データベース」の充実と活用の促進

④中小企業に現状・課題を討論する「振興会議」の設置

の4項目を提言。

・事業の状況については、生産・作業に関わるエネルギー費、刃物や部品の高騰により、とうとう値上げする方向で考えている。

・確定申告が始まるが、小規模事業者の決算から動向を把握し対策を考えていく。

・インボイスについての相談はある。

・観光農業（イチゴ）：コロナがある程度収まってインバウンド効果あり（東南アジア・台湾の方がバスで来る）

・青年部（45歳定年）の会員が来年度14名から11名に減る。今後の組織としての必要性を詰めていきたい。

・12月の総理官邸での国際女性会議での取り組み報告に続き、1月は県知事に訪問いただいた。それらで生まれた繋がりを地域内での活動や未来会議に連携できていければ。

・「絵ろうそくまつり」での絵付け体験を、ボランティアを集めて実施。外出する機運はだいぶ回復している（体験は60組満員）。

・団体での3月例会において、スケートイベントを実施予定（スケート場まで電車で行き実施）。

・事業においては、2月に3市町村での雪まつり運営。親子連れが多かった。

・酒ガチャ参加店舗によると、5月に予定されているコロナの5類引き下げに合わせて、パーテーションなどの感染対策も各店の判断になっていく見込み。

・フクシマサケプロジェクトでのラムちゃん限定ボトルは即完売。韓国大使館から問い合わせがあり、復興支援の機運はいまだある。

・地域を盛り上げるようなイベントを行う際には、外から介入した方が事業運営をまとめ

やすい。

- ・通常通り新年会を行った団体が多かった。

②令和5年度未来会議からの提案について

事務局からのイメージをもとに、事前聴取した意見について説明。

【聴取した意見】

- ・若者と一緒に交流している様子の写真などをいれて、地元を若者と一緒に盛り上げている感を出した方がいい。
- ・セミナーの具体例や、高校生との実践例など画像を使い、視覚的にわかり易くカラフルにすべき。
- ・令和5年度のセミナー告知も掲載できた方が良い。
- ・紙媒体だけではなく連動した SNS での訴求も行った方が良い
- ・葵ゼミ以外の他校の取り組みも一緒に紹介しても良いのでは⇒幅広く地域高校の取り組みに意見交換などで参加しても良いのでは。
- ・未来会議以外で、地域内での良い事例・取り組みも発信しても良いのでは。
- ・市民全体に届く市政だよりに掲載するとしても、年齢層などターゲットを絞った方が良い。
- ・作り手の意図と受け手の反応は異なるので、発信して終わりではなくアンケート機能などで検証した方が良い。

上記の意見に加え、

- ・様々な団体やオブザーバーが参加している、幅広い、凝り固まっておらずフレキシブルな会議であることをアピールした方が良い。
- ・後述する懇親会など、団体間のつながりの実績なども載せられたら良い。などの意見をいただく。

☞来年度の未来会議でも協議・修正していただき、市政だよりによる広報を行うこととする。

③AiCT 入居企業との懇親会及び令和5年度セミナー案について

・懇親会について

コアメンバーが所属する団体にて AiCT 見学を行ったが、入居企業の方と会うことはできなかったため、各企業とすでにつながりがある他メンバーの協力のもと懇親会を開き、入居企業が行っている地域内での取り組みなどを理解し、かかわりが持てそうな点を見つけるきっかけとすることが目的。

・令和5年度セミナー案について

今年度のコアメンバーの意見ももとに、事務局案として2名の講師を提案。来年度の未来会議にて再度協議していただくこととする。

令和4年度
会津若松市中小企業・小規模企業未来会議 コアメンバー

所属・企業名		役職	氏名（敬称略）	備考	第4回 出欠
会津大学短期大学部 産業情報学科		准教授	木谷 耕平		出
中小・小規模企業者	(株) cluster	代表取締役	齋藤 英宣	会津若松商工会議所 推薦	欠
	古川プラスチック	代表	古川 孝治	あいづ商工会 推薦	欠
	(株) 三義漆器店	代表取締役	曾根 佳弘	県中小企業家同友会 会津支部	出
	(株) アクトイン	代表取締役	松浦 久美	県中小企業家同友会 会津支部	出
	TAKLAM	代表	遠藤 和輝	公益財団法人 会津青年会議所 推薦	出
支援機関	会津若松商工会議所	企業振興課 課長	吉田 浩		出
	あいづ商工会	事務局長	白川 浩二		出
	福島県中小企業団体中央会 会津事務所	所長	堀 和弘		出
	会津信用金庫	本店営業部長	渡部 勝敏		欠
	会津商工信用組合	融資部副部長	清野 敦		出
会津若松市観光商工部商工課		課長	櫻井 恭子		出